

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 001	提案機関名 農政課
要望問題 ICTを活用した生産技術の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 <p>平成25年の年頭記者会見で知事が行った「電子化全開宣言」では、最新の情報通信(ICT)の活用により、神奈川全体の電子化を進め、県民のくらしの利便性を向上させるとともに、県庁は率先して電子化を進め、仕事のやり方を徹底的に見直すことで、大胆な経費削減に取り組むとして、①スマート神奈川の推進、②行政サービスのICT化の拡充、③スマート県庁の実現、の三つの方針を掲げている。</p> <p>環境農政局では、スマート神奈川の推進として、農林水産業のスマート化を図り、ICTを活用して本県の農林水産業が抱える課題を解決することを目指している。</p> <p>本県の農業は、優れた技術力で高い生産性を維持しているが、今後も生産力を一層高めていくため、温室内の温度や二酸化炭素濃度などを作物の生育に最適な状況にコントロールする等、ICTを活用した生産技術の開発をお願いしたい。</p>	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 施設園芸における環境制御技術の開発			
対応の内容等 ICT技術は本県農業の生産性向上に大きく寄与する可能性があり、ICT技術を活用する温室環境の統合環境制御の考え方が生産現場でも広がってきており、この考え方に基づいた環境測定が行われ始めたところです。 当所では現在イチゴ、バラ等を対象に既存温室における最適な環境制御法の開発を実施しています。 今までに得られた知見を基に今後は、ICTを利用した規模拡大・収益増及び地域内ネットワーク化を目指し、①新規温室を想定した温室内環境の最適な制御法の開発、②地域(複数経営体)を対象にした温室内環境、出荷量、労働時間等の情報の活用法の検討を行う予定です。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			